

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2470501657		
法人名	有限会社ふるかね屋		
事業所名	グループホームおたっしや長屋		
所在地	三重県津市野田165		
自己評価作成日	令和4年 1月18日	評価結果市町提出日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kanji=true&jiyosyoCd=2470501657-00&serviceCd=320&type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	評価認証推進機構株式会社
所在地	三重県四日市市八王子町439-1
訪問調査日	令和4年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事務所に[たった9人のニーズ すべてに応えられなくてなにがグループホームか！]という理念を掲げています。利用者さん全員に細かな目が行き届くように心がけており、それが小規模だからこそその長所だと考えています。また、食事の時間など決まっていますが、あまり時間にとらわれずできるだけ一人一人のペースを大切に生活していただけるようにと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

入所者と職員の信頼関係が構築されており、明るく楽しい雰囲気を感じさせる事業所である。コロナ禍においても地域との繋がりが途切れないように、入所者が職員と共に自治会の配布物を配ったり、散歩中も馴染みの方と出会えば足を止めて声をかけるなど、積極的な交流が行われている。また独り暮らしの高齢者への入浴支援も体調に配慮しつつ継続されており、地域を大切にしようという思いは強く暖かい。季節行事及び外出についても縮小せざるを得ないこともあるが、行事食は楽しくおいしく食べられるように工夫し、外出も車で少人数編成で出かけられるよう体制を整えている。管理者は職員からの意見に真剣に耳を傾け、ケアの質の向上に向けて努力している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に理念を掲げ、共有して実践につなげています。	理念は事務所に掲示し、常に目に触れるようになっている。ミーティングの際に再確認をして職員全体で共有し、実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の状況を得ることができるようになっています。近所の一人暮らしの高齢者の方の入浴介助をお手伝いさせてもらっています。また採れた野菜や果物を分けていただけます。	代表が現在自治会長を務めており、近隣との交流は積極的に行われている。自治会の配布物を入所者と共に配ったり、散歩などでの会話も弾んでいる。近所の一人暮らしの高齢者の入浴支援も体調に配慮しながら、継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者さんの中には以前このホームの近くに住んでおられた方もおられます。近くの道や盆踊りでお知り合いに出会った時は、認知症になっても知っている顔や楽しかった思い出は覚えているのだと解っていただけていると思います。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年に入ってからではコロナウィルス感染症の拡大に考慮して、各関係所に書面にてホームの状況を伝えています。気になる点や必要な情報を返信していただいています。	会議やミーティングの内容は書面で介護福祉課及び地域包括支援センターに返信用の封筒と共に郵送し、意見を聴取できるようにしている。返信内容はねぎらいの言葉が多いが、必要な情報や意見を受けた時はサービスに反映できるように努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に市介護保険課の職員に参加してもらい、情報交換を行っています。またお世話になっている担当の方とは電話でも相談をさせてもらっています。	現在は事業所から情報交換や相談のため電話をしている。コロナ事情及びワクチン対策情報、病状悪化のため区分変更申請をしたが、途中で亡くなった方のことで困った時、相談をした。市と協議した結果、事情を考慮してもらい介護度が上がった経緯がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠はせずに帰宅願望がある利用者さんには職員と一緒に歩き、落ち着いていただけるようにしています。また、ご家族に了解を得て、電話をさせていただくことで安心していただけるように努めています。	どうしてもベッド柵が必要な方には、根拠を十分検討した上で就寝時の転倒防止にのみ設置している。自動体位交換装置使用の方は転落防止のため足側に設置し、頭側に設置の方は、自立を促すべく起床の際に柵をもって起き上がれるように工夫している。	ベッド柵設置に対して丁寧なアセスメントを実施するなど色々工夫している。更には定期的にモニタリングを実施し、必要性のみでなく利用者の安楽な状態も検討しつつ、家族の同意を得た上で、ケアプランに位置づけて実施されることが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月に一回のミーティングで虐待や身体拘束について話し合いをしています。入浴介助や着替えの介助の際に利用者さんの身体状況を確認し、気づいたことがあれば生活記録や連絡ノートに記入して職員全員で共有するようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	代表者と管理者は講習や研修に参加したことがあります。職員の講習などは行っていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、契約書により説明し、ご理解納得していただいた上で契約していただいています。ご家族の不安や疑問に関しましても、その都度相談、説明をさせていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時や利用者さんとの会話の中でご意見、ご要望があれば、代表者に報告しミーティングで議題に上げるようにしています。	家族の面会時に意見や意向の聴き取りを行っているが、運営面より利用者に対する要望が多く、職員間で協力しながら可能な限り反映するよう努めている。利用者本人からも意見が出やすいように声掛けや促しを行っており、運営に反映させる努力をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段から疑問に思っている点や改善した方が良かった点はなんでも話合える環境であると思っています。気になったことは連絡ノートに記入しています。また月に1度のミーティングでも話し合えるようにしています。	日常的に意見が出し易い環境作りに努めているが、本音の部分は十分聞き取れていない。ケアの質向上を図る為、出た意見は会議等で話し合い、より良いケアの実践に努めている。入浴介助の順番や当番、シフト等の意見が出た時は、変更内容の作業効率を評価し、職員の負担軽減に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	基準となる労働時間を越えないように調整しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等の申し込み書を掲示板に貼り本人の希望を含めて参加を促しています。利用者さん個人個人との接し方や介助の方法等は気づいた点があればお互いにアドバイスができる関係にあると思います。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年は集まることができないので、電話でコロナウィルスの対応や自粛を求められる職員の心のケア等をどう行うのかを意見交換しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者さんに話かけ、また表情や行動を観察し、その方のキャラクターを理解することがホームで安心して生活を送っていただけていると思っています。また職員との信頼関係を築くことにも繋がると思っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階でご家族の要望もお聞きして、利用者さんのこれまでの生活習慣、趣味等を教えていただくことで、利用者さんがホームで落ち着いて生活を送ってもらえることに繋がると思っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体の状態に応じて訪問マッサージや歯科医往診、皮膚科医往診を利用しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護であるということを忘れずに一方的に介護するのではなく、利用者さんに合った仕事を見つけて手伝っていただいています。またIADLの維持にも繋がると考えています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんが不安になったり、ご家族と電話がしたいと言われた時は、面会時にお伝えしてご家族にしかできない支援をお願いすることがあります。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出にお誘いできなくなったので、これまで住んでいた場所やご家族のこと、買い物に行っていた所等を思い出していただけるようにお話を聞かせてもらっています。	自宅が近所の方には歩いて付き添い、遠方の場合は電話で家族との交流が途切れないよう支援している。近くのコンビニで買い物に付き添い、社会との交流を続けており、訪問理容が馴染みとなっている。墓参りの希望は、家族の協力を得て実現できるよう取り計らっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事や仕事を複数人で一緒にやっていたかのようにしています。また利用者が分からないことがあった場合は職員が全て解決してしまわずに、他の利用者と一緒に考え、教えていただけるようにお声かけをさせていただいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要としていただいている限り関係を切ることなく支援を継続しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り利用者さんの意思を尊重できるように努めています。意思表示が困難な方には、ご家族からの意見も考慮しふれあう時間の中から思いを汲み取り希望に添えるように努めています。	入所前に家族を交えて今迄の暮らしぶりや大切にしている物や事、想い、不安などを細かく聴き取り、職員全員の共有・把握に努めている。意思疎通が困難な場合は、家族の話や表情や行動パターンから判断するが、一緒に音楽を聞いている時等の機会にも思いを汲んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者さん、ご家族からの聞き取りやホームでの生活を通して見ていく中で、その方にあった暮らし方を把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来る限りその方に合ったリズムで生活を送っていただけるようにと考えています。心身状況は日々の観察から変化を見逃さないように努めています。できることはご自分でやっていただけるように、待ち、見守ることが大切と考えています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングで話し合いケアプランの原案を作成しています。問題やケアのあり方をプランに反映できるように利用者、家族、職員の意見を引き出すことが大切だと考えています。	本人、家族の希望はミーティングで話し合い介護計画に反映し、モニタリングを行っている。毎食指定の缶詰を食べさせてほしいとの希望がある家族に対しては、看護師と相談しながらできる範囲で対応している。それぞれの意見が出しやすく反映できるように試行を積み重ねている。	更には、ミーティングで話す内容や意見を事前に無記名で記入し、当日の検討課題にすることで多くの意見が集まった事例を紹介したが、無責任に一方的な意見にならないような工夫をしつつ参考にされた。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録や連絡ノートに気づいた点や工夫したほうが良いことを記録しています。「こうしたほうが良い」「こうしたダメだった」など実践、結果を可視化し共有することが大切であると考えています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族にも協力していただき、利用者さんの希望、意向に沿えるように柔軟な支援が必要だと考え、実践しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者さんの慣れ親しんだ町でご家族、友人との繋がりも切れることがないように心身ともに健康に過ごしていただけるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員が受診に同行し、かかりつけ医との関係を築くように努力しています。また、かかりつけ医お一人には月に一度往診に来ていただいております。	入所前のかかりつけ医希望の受診は家族の付き添いで実施されている。また近所の嘱託医とは長い付き合いで往診時には色々相談できる関係である。薬剤管理指導を受けており薬の管理は薬局が実施し、個々の利用者に対して変更なども滞りなく行えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤専従の看護師を配置し、利用者さんの心身の変化を伝え、利用者さんの健康管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	治療計画が出た時点でご家族と相談しています。帰所環境を整え、病院のケースワーカーと話し合っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの指針を立ててご家族に了解をいただくようにしています。また、延命治療の是非についてもアンケートを提出していただき、終末期のありかたについて方針を共有するようにしています。	看取りの経験を積み重ね、今年1月にお一人の方を穏やかな状態で見送った。入所の際に終末期に関するアンケートを取り、意向を確認し、時期が訪れた時は主治医と相談した上で、同意書の説明を行っている。方針はケアプランにその都度反映し、職員一同で共有しながら安楽な最期を迎えていただけるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応についてはミーティングで話し合い、看護師からの意見を聞くようにしています。応急処置や初期対応の訓練は定期的には行っていません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議において自治会長に伝えて地域に発信していただいております。消防に協力していただき、年に2回の消防、非難訓練をしています。	災害及び避難時のマニュアルを掲示しており、毎年入所者全員がバスに移動する避難訓練や夜間想定訓練も行っている。職員全員が避難場所や経路を熟知している。火災想定訓練では消防の協力も得て直通電話で指示を受け報知器のベルで実施した。今後一斉LINEも検討している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介助動作ひとつひとつに声かけを大切にしています。トイレ、入浴での介助ではより細かな気配りができるように気をつけています。	入室時の「失礼します。」の声かけ、着替えやトイレ介助時のカーテン励行を守っている。全員が集う中でトイレ誘導は「手を洗ってきましょう。」等の声かけでプライバシー配慮を心がけている。入浴拒否に対しては、時間の工夫やじゃんけん等での誘導で楽しい雰囲気での入浴を支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ひとつひとつの動作において利用者さんの意思を尊重できるように努めています。職員がやることを決めてしまわずに声かけし、一緒に考えてその方の答えを「待つ」ことが大切だと考えます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大切にし、職員の都合を優先させないためにも、職員同士でその方の状況を確認し合い、また申し送りするように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常的に利用者さんの持っている洋服を活かしたコーディネートを考えて着用してもらっています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんにも調理のお手伝いをお願いしています。立位の保てない利用者にも食器の拭き取りをお願いしています。食欲や噛む力に合わせて、量や形状を変化させています。	季節行事食等への趣向や希望をボードに書き出し、利用者と一緒にメニューや飾り付けを決めており、職員は利用者の状況に合わせた意見を出している。食べたいものが用意してない場合も、どこかで調達できるようにしている。できることは利用者さんに任せ、職員は手伝うようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、水分量を確保するためにトロミをつけたりキザミ食、ペースト食等、その方の力にあった形状で摂取していただいています。食欲がなく十分な栄養、水分を摂取できない時は高カロリードリンク等で補っていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で口腔ケアができない方は毎食後の口腔ケア、ご自分でできる方は朝、晩の口腔ケアを促し、できないところを介助するようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間は巻きオムツを使用している利用者さんも日中は排尿のリズムを把握し、トイレにて排尿してもらっています。声や動作、表情に表わしてくださる時もあり、見逃さないようにしています。チェック表を作って排泄の有無をチェックできるようにしています。	日中2時間おきのトイレ誘導で、排泄チェック表に記入し状態を把握している。殆どの方がリハビリパンツで、トイレ誘導にて1人ずつ5分から10分をめぐりにトイレでの排泄を促している。排便は、緩下剤服用の人を含めなるべくトイレでできるように状態観察を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を声掛け、介助して飲んでいただいております。排便のチェック表を確認して、必要に応じて3日置きに便秘薬の服用をしてもらっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	1日に3名ほど入浴していただいています。その日に入りたくないと訴えがある方、今日入りたいと訴えられる方もおられるので、順番の調整を行っています。	利用者の意向を汲み2人介助の入浴支援を実現させ喜んで貰っている。「職員の負担軽減と利用者の不安のない入浴」の為に浴室内の手摺や低いシャワー椅子等を購入活用し前回の課題を克服している。全体的に狭い浴室改修の提案を反映させるべく補助金の申請を検討している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日のリズムをなるべく崩さないように入眠準備の介助、声掛けを行っています。お昼寝のタイミング、時間も利用者さんに合わせて行ってもらえるように介助、声掛けをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬が届いた時に、おくすり手帳と説明の紙を確認し保管しています。利用者さんの変化を生活記録に記録し、問題があれば連絡ノートに記入、医師に利用者さんの状態を説明できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一般的な家事は声掛けしなくても利用者さんの方から自発的に手伝っていただいています。家事をして居る時と歌を歌っている時が活き活きされているように思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	本人の意思を尊重しご家族にも利用者さんの外出を協力していただいております。	毎年の花見を今年も実施する予定で、皆さん楽しみに待っている。一人ひとりの希望をできる限り叶えようと努力し、名古屋に帰りたいという要望には、家族と協議しながら進めている。日常的に散歩を兼ねて配布物を配り、コンビニで買い物しつつ、季節ごとの景色の変化等を実感して貰えるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	どうしてもお金を持ちたいと希望される利用者には家族の了解を得て、持っていていただきます。買い物に行く時は、利用者さん個別の預り金から精算しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族にしかできない支援として電話をかけることがあるとお話し、ご理解していただいています。ご家族、ご友人から手紙が届く方もおられ、返事を書いてはどうかと声かけをさせていただきます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事等の時には一つのテーブルを囲むことになるので、利用者全員が快適に過ごしていただけるように並び順を考えています。購入した、あるいは頂いた旬な食材を手作りで提供させていただきます。	リビングでくつろいだり、ウッドデッキで野菜や花の水やり、中庭の陽だまりでのんびり過ごしたりと、一人ひとり自由に過ごされている。収穫した野菜は食事作りの材料となり、喜んで食べてもらっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内の仕事を一緒にされる方々や、歌を歌うのが好きな方々が一緒に楽しんで過ごせるようにお誘いしています。居室へ戻りたいと意思を確認して居室で過ごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、テレビ、ダンスやリクライニングソファ等ご希望であれば可能な限り持ち込んでいただいております。以前は冷蔵庫を設置されている利用者さんもおられました。共同生活の中でも居室は自分の愛着のあるものに囲まれた、落ち着けるスペースであってほしいと考えています。	自宅で使用していた家具や思い出の詰まったお気に入りの物など安全に配慮した上で、自由にレイアウトして貰い、快適な状態で暮らしてもらえるようにしている。照明器具なども合えば灯りのやわらかい物に変えたり、仏壇なども必要なら持ってきて貰ったり、柔軟に対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	排泄や整容、着替え等できることはご本人にさせていただけるように促し、介助しています。センサー、ナースコールの設置等、その方に必要な援助を施して安全に生活していただけるようにと考えています。		